

熱川温泉病院

鈴木 大恵(リハビリテーション部 / 作業療法士)

- 功 績** 東伊豆町主催の「認知症カフェ」の講師(7月と8月の各月2回、計4回)を務めたことで、自らの専門性を地域住民の健康増進に活用し、住民及び東伊豆町職員から高い評価を得ており、地域に根差した病院としての認知度アップとアウトブランディング強化に繋げた功績。
- 推薦者氏名** 小山内 隆(リハビリテーション部長)
- 推薦理由** 鈴木さんは、作業療法士として日々患者さんのリハビリテーションに尽力する一方、その専門知識を地域住民の健康づくりにも積極的に活かしています。東伊豆町からの依頼を受け、「認知症カフェ」の講師として、認知症の基礎知識や予防方法、脳トレなどの実践的な講習を実施しました。参加者から好評を得るとともに、地域の認知症への理解と予防意識の向上に貢献し、当院の地域に根差した取り組みを発信するなど、病院のアウトブランディングにも寄与しました。

内 容

鈴木は、今年で入職10年目を迎え、作業療法士として日々、患者さん一人ひとりの身体機能や認知機能、日常生活動作などの状態を見極め、それぞれの目標に合わせたリハビリテーションを実践しています。患者さんが少しでも自分らしい生活を取り戻し、安心して社会生活へ復帰できるよう、専門的な知識と技術を生かしながら業務に取り組んでいます。

今回、特に彼女を評価したいのは、その専門性を院内だけにとどめることなく、地域住民の健康づくりのために積極的に活用したことです。今年の7月と8月、東伊豆町からの依頼を受け、地域住民を対象とした「認知症カフェ」の講師を務めました。各月2回、稲取や奈良本の会場で、約1時間の講習とトレーニングを実施しました。鈴木をリーダーとして3名のセラピストが参加し、約15名/回の地域住民を対象に、「認知症とは何か」「どのような症状が現れるのか」「認知症を予防するためにできること」について分かりやすく説明するとともに、脳トレなどの予防トレーニングを楽しく実践。参加された方々からも好評を得て、主催者である東伊豆町の職員からも「とても良かった」と高い評価をいただきました。

鈴木は今回の活動において、単に知識を伝えるだけではなく、「参加されたお一人おひとりが学んだことを家族やご近所の方にも伝え、地域全体へ広がってほしい」という思いを持って講師を務めました。その思いは、地域の認知症への理解を深め、予防への意識を高めることにつながるものであり、行政からも今後の地域での取り組みへの期待が寄せられています。さらに、こうした活動を通じて当院の専門性や取り組みを地域の皆様に知っていただく機会となり、地域に根差した病院としての認知度向上やアウトブランディングの強化にも大きく貢献しました。

日々の患者さんへのリハビリテーションに加え、その専門知識と経験を地域社会のために還元し、住民の健康と安心に貢献した彼女の功績を高く評価し、理事長賞の受賞者として推薦いたします。